

五島市有機農業実施計画

1. 市区町村

五島市

2. 計画対象期間

令和 7年度 ~ 令和 11年度

3. 対象市区町村における有機農業の現状と5年後に目指す目標

ア 有機農業の現状

五島市における農業生産の多くは慣行栽培で生産されており、有機農業に取り組んでいる経営体は、お茶や野菜農家の一部で全体の約8%程度となっている。

このような中、五島市農業法人会では、今後は有機農業の取り組みが必要であると考え独自に勉強会を行うとともに、市長へ有機農業の推進について要望した。また、JAごとうにおいても、令和5年度、有機農業への取り組みを目指す組合員を中心として構成する有機農業部会の組織化が目指されるなど、有機農業への取り組み気運が高まっている。

イ 5年後に目指す目標

・有機農業の面積拡大

	令和6年度末	令和11年度
面積	7,523a	9,213a

※環境保全型農業直接支払交付金事業において「有機農業」に取り組む面積

・有機農業者の増加

	令和6年度末	令和11年度
人数	23	28

4. 取組内容

ア 有機農業の生産段階の推進の取組

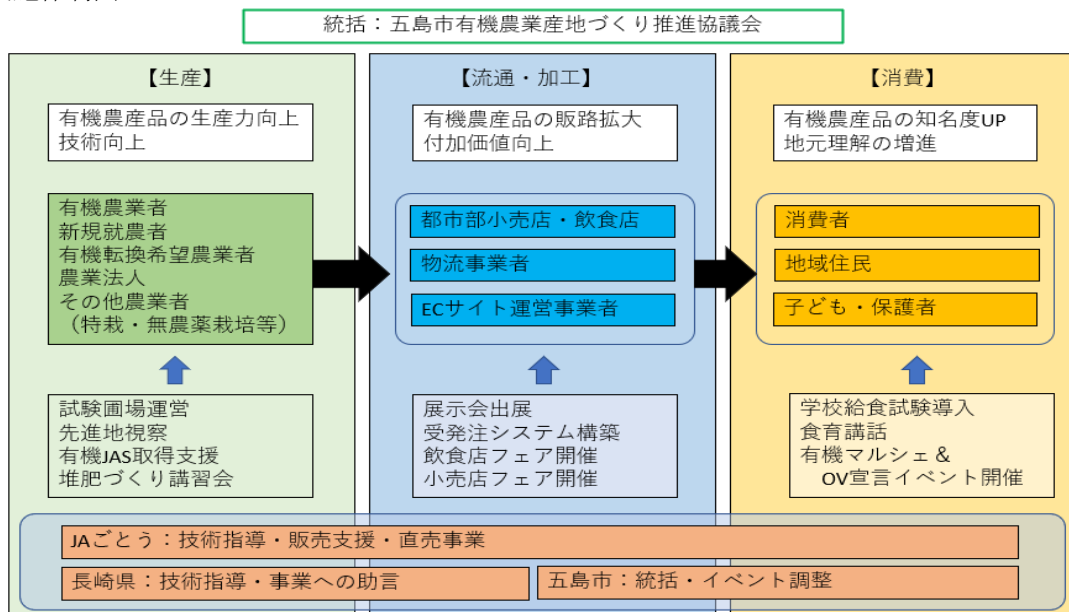
- ①有機栽培試験ほ場の整備
- ②有機栽培試験資材(有機JAS適合肥料等)の提供(試験ほ場での利用時)
- ③有機JAS認証取得に必要な支援
- ④スマート農業を活用した有機栽培の取組に対する支援
- ⑤有機栽培技術習得支援
- ⑥堆肥づくり講習

イ 有機農業で生産された農産物の流通、加工、消費等の取組

- ①有機農産物の販路開拓支援
- ②有機農産物の取引環境整備
- ③販促キャンペーン(消費者向け)支援
- ④有機農業農作業体験(食育)
- ⑤学校給食への食材支援(有機農業の日)

5. 取組の推進体制

ア 実施体制図



イ 関係者の役割

五島市: 統括・イベント開催 JAごとう: 技術的支援・販売支援 長崎県: 技術的支援・事業に関する助言指導

<p>6. 資金計画</p> <p>別紙のとおり</p>
<p>7. 本事業以外の関連事業の概要</p> <p>【環境保全型農業直接支払交付金事業】 オーガニックビレッジへの取り組み以前から、有機農業に取り組みたい農業者へは、本交付金事業の活用を推進してきた。今後も、本交付金の活用を促進し、有機農業へのチャレンジ推進とその後の安定した有機農業経営を維持し、市内全体での有機農業拡大を目指す。</p>
<p>8. みどりの食料システム法に基づく有機農業の推進方針について</p> <p>※基本計画と本実施計画との関連性等必要に応じて記載すること</p> <p>「長崎県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画」に沿って推進する。</p>
<p>9. その他(達成状況の評価、取組の周知等)</p> <p>オーガニックビレッジ宣言において、HPにて取組内容を周知する他、宣言イベントを開催し一般参加者(消費者)等への取組の周知を図るとともに、2年目の取り組みとして有機農業者のつどいを継続実施して、より実効性のある事業を実施する。 本取組の農業者等への周知と参加者の拡大を図っていく。 R8年度取り組み目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーガニックビレッジへの取り組みをHP及び広報紙にて周知公表 ・有機農業者のつどいを2回以上開催 ・有機栽培関連講習会2回以上開催

6 資金計画

単位:千円

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
区分	ア 生産段階の推進の取組					
	① 試験ほ場の整備	424				
	② 有機栽培試験資材の提供		860			
	③ 有機JAS認証取得援	486	630			
	④ スマート農業					
	⑤ 有機栽培技術習得支援	585	1,790	500	500	500
	⑥ 堆肥づくり講習	612				
	イ 流通、加工、消費等の取組					
	① 有機農産品販路開拓支援	2,655	2,300			
	② 有機農産品の取引環境整備	1,150	1,870	500	500	500
	③ 消費者向けPR	186	300			
	④ 有機農業農作業体験(食育)					
	⑤ 学校給食への食材支援	6	190			
	ウ その他					
	全般・事務関係経費等	93	60			
		6,197	8,000	1,000	1,000	1,000

4の取組内容に対応した年度ごとに記載してください